

テレビドラマで描かれる金融機関の偉い人たちは、ふかふかのソファに座り寡黙です。しかし、三浦半島の金融マンは現場へ出て積極的に発言します。

掲載記事だけ拾

っても、かながわ

信金の平松廣司理

事長は渋沢栄一の

研究に努め、定期講座を開催（昨年

9月13日付）。湘南信金の石渡卓理

事長は神奈川大の寄付講座で締め

講義をしました（今年1月9日付）。

鈍角

支社発

鋭

地域を語る金融マン



横浜銀行の山田真悟横須賀支店長は関東学院大との間で「ソーシャルビジネス論」の授業を構えています（昨年12月19日付）。共通するのはお金を運用する目的を収益だけに求めず、地域活性化や人材育成へ、という熱意です。

3月3日の「浦賀まちづくりフォーラム」には平松理事長が参加。どんな思いが語られるのか楽しみです。（横須賀支社長・有吉 敏）